

未来を創る鹿児島「教育の情報化」推進プラン Ver.2.0（案）に対する
意見募集の結果について

- 1 実施期間 令和8年2月13日（金）から3月12日（木）まで
- 2 意見の件数 2件
- 3 提出された意見の概要，それに対する県教委の考え方

意見 番号	頁	意見の概要	県の考え方等
1	11	一部の学校では、「表現の拠点」となる美術室・美術部・専門教員が不足しているため、「個別最適な学び」を保証するためにも優先的に整備してほしい。	県内の小規模校では，施設面・人員配置の制約もありますが，子どもたちの多様な学びが保障されるよう，頂いたご意見を，該当の市町村教育委員会へお伝えします。
	18	専門教員が配置できない場合でも，遠隔による専門家の指導ができるように支援してほしい。	GIGA スクール構想により，各小中学校には ICT 端末をはじめとするデジタル学習基盤が整備されておりますので，頂いた貴重なご意見を参考に，今後，オンラインでの専門人材の活用事例を各市町村へ展開してまいります。
2	18	「V-2-(2)教員が自ら学べる環境づくり」について，「ポータルサイトの構築」においては，短時間の解説動画に加えて，生成AIの導入による，Chatbotでの質問への対応なども期待したい。	ポータルサイトの整備に当たっては，カテゴリー分けや検索性の向上，短時間で理解できる動画教材の充実，AI等を活用した質問対応の可能性について，いただいたご意見を参考にしながら，実用性の高いものとなるよう構築してまいります。
	21	「V-3-(3) 教育活動を支える端末の計画的更新と管理体制の整備」について，教育行政職員（指導主事や研究主事等）へもタブレット端末を整備するか，個人端末の持ち込みを許可してほしい。	情報セキュリティ上，個人端末の持ち込みは現状できません。なお，行政職員への端末については，必要に応じて貸与し対応しております。
	21	校内のネットワークの帯域強化に加え管理職への ICT 端末を支給し，ICT 端末の操作研修を実施してほしい。	2nd GIGA 端末整備支援において，児童生徒数に応じた推奨帯域を満たすよう各市町村へ指導してまいります。 また，教職員のキャリアステージに応じた研修を県総合教育センターで設定し，加えて，オンデマンド教材やAI活用による自己学習支援について，引き続き連携しながら検討してまいります。